

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.34

開催地：八代市麦島校区

平成 19 年 10 月 2 日（火）、八代市麦島校区（会場：中北町公民館）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

市内	22 名
市外	1 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・人吉地点で 7,000m³/s、横石地点で 9,900m³/s との説明がピンとこない。時間何ミリ降ったらこういう洪水になるというように分かりやすく教えて欲しい。
- ・萩原対岸が浸かったとの説明があったが、どこが浸かったのか図示して欲しい。S40 年に、豊原、高田ではどこが浸かったのか具体的に教えて欲しい。
- ・川内川流域で降った雨が球磨川流域で降った場合、八代で 12,000m³/s の洪水となるとの説明があったが、その場合、川辺川ダムで対応できるのか。また、川内川で降った雨での話は球磨川に整合性は無いのではないのか。
- ・森林の洪水緩和機能についての説明があったが、水田こそ貯水機能が大変高い。農水省の資料に、耕地の 1.6% の棚田をほったらかすとピーク流量が 38 % 増えるとある。水田の貯水、保水効果をどのように考えているのか。また、検討したのか。
- ・人吉市内の河床掘削には人吉層露出の問題があるとの説明だが、橋梁の基礎が露出したなら補強すればよい。それが掘れないという絶対的な条件でないと思う。補強した場合との費用対効果の比較検討はしているのか。
- ・人吉層が露出した場合は、砂利層を復元すれば済むのではないのか。
- ・川辺川流域は球磨川流域の約 55 % を占めると聞いたが、資料には人吉地点 4,000m³/s、川辺川 1,500m³/s、それ以外の水上から流れてくるのが 2,600m³/s とある。これにはダム調節が入っているのか。この辺りの基本的なデータがはっきりしない。
- ・森林は 1 平方 m あたりの保水力が具体的な数字としてあるのか。傾斜や樹種の違いによって具体的に説明して欲しい。
- ・（上流域の雨量と流量の関係を整理したものについて）この関数には時間が必要では。

【球磨川の治水対策について】

- ・中北の第一樋門の内外に土砂が堆積し、排水面で支障をきたしている。国交省で土砂の浚渫をしてもらえないか。また、水路のスクリーンを完全に下ろすと堰き止める状態になるため、少し下を空けている。
- ・H9 年の台風 18 号の時には、高潮と球磨川の洪水とが合流して中北の堤防を越す寸前だった。堤防の嵩上げはしてもらったが、オーバーフローした時は堤防の住宅側は崩れる可能性は十分あるのではないのか。住宅側の法面の補強についても検討をお願いしたい。

【球磨川の環境について】

- ・ゆめタウンのところに砂利採取船が放置されていて、環境、景観の面から悪い。河川整備の中の環境整備でなんとかできないか。
- ・南川橋の中北清掃センターあたりの堤防の散策道について、橋のたもとところで道路が交差しており、歩いてきた人が車が過ぎるまで待つ時間がかかっている。橋の下に人間が通れるだけでもよいので道を造って欲しい。
- ・国交省で行っている堤防の草刈りについて、頻度、時期を教えてください。区間の途中まで刈って、また、下流から刈るなどしていた記憶があり、おかしいなと思ったことがある。

・堤防の南側の斜面だけが刈られており、反対側は刈られていない。草刈り対象になっていないのか。全部刈って欲しい。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

